

LOTUS POSITION

AKIRA HORIKOSHI

AKIHITO OBAMA

伝統と創造
2人のサムライ

様式と即興
世界を駆け抜ける

堀越 彰
(Drums & Per)

小濱明人
(尺八 Shakuhachi)



©Akihiko Sonoda

[GUEST]
山下洋輔 (Piano)

2013.12.28. Sat. *Open 18:30*
Start 19:30

出演 堀越 彰 Akira Horikoshi (Drums & Per)

小濱明人 Akihito Obama (尺八 Shakuhachi)

[GUEST]

山下洋輔 Yosuke Yamashita (Piano)

会場 南青山 MANDALA

料金 4,000円 (1drink 付)



ご予約 / お問い合わせ 南青山 MANDALA 03-5474-0411 <http://www.mandala.gr.jp/aoyama.html>
Office Play Ground info-horikoshi@mx1.ttcn.ne.jp <http://www1.ttcn.ne.jp/play-ground/>

LOTUS POSITION

AKIRA HORIKOSHI X AKIHITO OBAMA

[GUEST] 山下洋輔 (Piano)

1990年 僕は山下洋輔さんのグループでミュージシャンとして出発しました。当時僕は24歳、山下さんは48歳。それから10年間、ニュートリオやデュオプラスというレギュラーユニットに参加させていただき、国内はもちろん海外でもたくさんのステージをご一緒させていただきました。ロンドンとバリの初めての海外公演、1ヶ月に及ぶ南米3カ国ツアー、全国88箇所サバイバルツアーなど、既に純度の高いスタイルを築かれていた山下さんとの共演は最高の日々でした。どんなに叩いてもその大きさに跳ね返される、そんなある種の心地よさを感じながら山下さんに育てられ、堀越 彰というミュージシャンが出来たと思っています。今年僕は出会った時の山下さんと同じ、48歳になりました。いったい僕はあの時の山下さんにどれだけ近付けているんだろう...

嬉しさと懐かしさとトライとドキドキと 様々の感情が交錯する中、今年の締めくくりには山下洋輔さんをお招きし熱い一夜をお届けしたいと思います。

19世紀末 アメリカ南部で生まれた 黒人音楽 JAZZ。その自由な表現方法はあらゆる民族性を取り込みながら世界中を旅し、やがてヨーロッパや南米の JAZZ が産まれました。その風は日本にも辿り着き、多くのジャズミュージシャンが登場し、僕もその中で活動を始めました。2000年、より僕らしい JAZZ を創りたいと 考え気鋭の邦楽器奏者と“東方異聞”を結成。あれから12年、尺八奏者 小濱明人という同志を得て、再び自らのルートと向き合いたいと思っています。

2012年8月 NewYork で活動を始めた LOTUS POSITION。今、僕たちが信じる日本の響きをお聴きください。

堀越 彰



東京生まれ。海老沢一博氏、村上“ボンタ”秀一氏に師事。日舞家の父の影響から、日本の伝統音楽を敬愛する。1990年、山下洋輔ニュートリオでデビュー。伊藤多喜雄 夏木マリ 館形比呂一 パパトラフマラ チェンミン 藤井郷子 ヨーラン モンソン 等と共演、多数の海外公演に参加する。ジャズドラムを基軸にしながらも 邦楽や民俗音楽など古今東西の要素を自由に組み合わせ、空間演出とアジア人としての表現探求にテーマを持ったプロジェクトに着手。ピアノ 深町 純 バイオリン 渡辺 剛と組んだ“3人にして無限大のオーケストラ”『The WILL』(CD『INFINITY ORCHESTRA』)、薩摩琵琶や尺八 笛 能管など日本の伝統楽器と組んだ『東方異聞』(CD『A Strange Story from the Far East』)、音楽と美術の境界を超越したパフォーマンス『SOLO-ist』(国内公演の他 2002年マカオ公演 2008年キューバ公演)、尺八奏者 小濱明人と NY で活動をスタートさせた『LOTUS POSITION』、ラテン音楽の躍動感とクラシック音楽のダイナミズム スパニッシュ ボイスを融合させた『INSTINCT』などを主催。また銀座博品館劇場で行ったフラメンコ公演『狂詩曲 rhapsody』(2010)、『Quartier Latin』(2011)の構成 演出を手がけ、イベントへの楽曲提供を行う。都内に2ヶ所のドラムスクールを持ち、キッズ クラスのレッスンも行う。 <http://www1.ttcn.ne.jp/play-ground/>

堀越 彰 AKIRA HORIKOSHI [Drums & Percussion]



香川県高松市生まれ。古典を石川利光、民謡を米谷智に師事。NHK 邦楽技能者育成会第46期修了。第2回尺八新人王 決定戦優勝。04年、全編即興によるソロアルバム『風刻』を発表。05年、『歩き遍路四国八十八カ所奉納演奏 Tour』を敢行。自作曲を集めた2ndアルバム『波と椿と』を発表する。06年、スウェーデン国際吹奏楽フェスティバルに招かれ参加。1カ月に及ぶ欧州ツアーを成功させる。07年、hajimeinou(electro)との共作、CD『visions』を発表する。08年、ケネディーセンター主催のジャパンフェスティバル(ワシントン)・国際尺八フェスティバル(シドニー)に招待参加。後藤幸浩(薩摩琵琶)との共作、CD『ミチノネ』を発表。09年、文山アートフェスティバル(台北)に参加し、ソロコンサートを行う。12年、アジア・カルチュラル・カウンシル(ACC)の助成によりニューヨークへ留学。帰国後、自らのグループによる最新CD『水〜すい〜』を発表する。古典や自作曲を中心としたソロ活動の他、民謡の伊藤多喜雄率いる『TAKIO BAND』等数々のグループに参加している。また海外公演も多く、計31カ国で行っている。

www2s.biglobe.ne.jp/~obama/akihito

小濱明人 AKIHITO OBAMA [尺八 Shakuhachi]



1969年、山下洋輔トリオを結成、フリー・フォームのエネルギッシュな演奏でジャズ界に大きな衝撃を与える。国内外の一流ジャズ・アーティストとはもとより、和太鼓やシンフォニー・オーケストラとの共演など活動の幅を広げる。88年、山下洋輔ニューヨーク・トリオを結成。国内のみならず世界各国で演奏活動を展開する。2000年に発表した自作協奏曲を、佐渡裕の指揮により04年にイタリア・トリノで再演。06年オーネット・コールマンと、07年にはセシル・テイラーと共演。08年『ピアノ協奏曲第3番〈エクスプローラー〉』を発表。09年、一柳慧作曲『ピアノ協奏曲第4番“JAZZ”』を世界初演。歴代メンバー総出演の「山下洋輔トリオ結成40周年記念コンサート」を開く。12年2月、古稀記念のコンサートをベトナム・ハノイで開催。11月、12年ぶりのソロピアノ・アルバム『スパークリング・メモリーズ』リリース。13年9月、ニューヨーク・トリオ結成25周年アルバム『グランディオーソ』をリリース。99年芸術選奨文部大臣賞、03年紫綬褒章、12年旭日小綬章受章。国立音楽大学招聘教授。演奏活動のかたわら、多数の著書を持つエッセイストとしても知られる。

<http://www.jamrice.co.jp/yosuke/>

山下洋輔 YOSUKE YAMASHITA [Piano]

©Kiyomitsu Shirouzu